

第1号議案 名誉会員承認の件

名誉会員に関する規程第2条の推薦基準に基づき、佐々木光子（会員番号11）、富岡詔子（会員番号29）、谷合義旦（会員番号75）、福田恵美子（会員番号89）、岩崎テル子（会員番号446）を名誉会員に推薦する。

佐々木光子（会員番号11）

〈推薦理由〉

協会設立時・草創期の11年間、副会長、常務理事及び理事を歴任し、その間の職務として事務局長、財務部長、編集部長等を担当するとともに、診療報酬点数化に向けても尽力した。

〈協会役員歴〉 11年

副会長	1966年9月～1968年5月
常務理事	1968年6月～1970年5月
理事	1970年6月～1971年5月
常務理事	1971年6月～1977年5月

富岡 詔子（会員番号29）

〈推薦理由〉

通算35年の長期にわたって常務理事、理事及び監事を歴任し、渉外部長、機関誌編集委員長はじめ学術・教育・精神科分野で活躍。WFOT代表・代理として協会の国際化に大きく貢献した。

〈協会役員歴〉 35年

常務理事	1969年6月～1970年5月
理事	1975年6月～1979年5月
常務理事	1979年6月～1981年7月
理事	1981年8月～1991年7月
常務理事	1991年8月～1995年7月
監事	1995年8月～2009年6月

谷合 義旦（会員番号75）

〈推薦理由〉

協会発展期の通算23年間、副会長、常務理事及び理事を歴任し、職務としては広報部長、学術部長、学会評議委員長、選挙管理委員長等を務め、学術・広報の分野に大きな功績を残した。

〈協会役員歴〉 23年

副会長 1973年6月～1975年5月
常務理事 1975年6月～1990年7月
常務理事 1995年8月～1999年7月
理事 1999年8月～2001年7月

福田恵美子（会員番号89）

〈推薦理由〉

10年に及ぶ理事の就任期間に、主として作業療法士の卒後教育の問題に取り組み、生涯教育検討委員会・運営委員会の委員長として、生涯教育制度の基盤づくりに大きく貢献した。

〈協会役員歴〉 10年

理事 1991年8月～2001年7月

岩崎テル子（会員番号446）

〈推薦理由〉

常務理事及び監事を12年にわたって歴任し、協会発展期の財務運営に大きく貢献。また高齢者領域の作業療法の確立、学会評議委員長として日本作業療法学会の基盤整備に尽力した。

〈協会役員歴〉 12年

常務理事 1981年8月～1989年7月

監事 2009年6月～2013年6月